

別紙 学校関係者評価報告

I 重点目標について

| 平成 29 年度重点目標 | |
|--------------|--|
| 1 | 国家試験合格率 100%、2 中途退学率 5%以内 3 就職率 100%以上（卒業時）4 教員の教育力向上 5 学生募集の強化 |
| 達成目標・取組方法 | |
| 1 | 1 について ① 教育課程編成・実施の方針（カリキュラムポリシー）を学科ごとに具体的にわかりやすく策定する。 ② 受験者一人一人の国家試験合格学力の習熟度を把握し、補習（基礎勉）が必要な学生には補習を実施する。 2 について ① 1 年生に対する導入期の指導計画を策定し、望ましい生活習慣と学習習慣を身につけさせる。 ② 授業欠席数が多い学生を適宜指導する。 ③ 休退学者が出た場合、要因・傾向分析・今後の対策を検討する。 3 について ① 3 年間の就職活動支援活動支援計画を示し、学生自らのキャリアデザインへの意識を向上させる。 ② 企業説明会や各種就職講座を定期的に開催し就職を支援する。 4 について ① スキルアップするための自己評価シートを有効活用する。 ② 教員の研究・学会での発表を学科ごとに行う。 5 について ① 高校訪問・ガイダンス・学校説明会を強化する。 ② 職員及び教員の広報スキルの向上を図る。 |
| 自己評価 | |
| 1 | 国家試験合格率 はり師 92% きゅう師 93% 柔道整復師 88% 歯科衛生士 100% 鍼灸学科及び柔道整復学科の国家試験合格率が 100%に至らなかった。来年度に向けて、指導の改善を図る。 |
| 2 | 中途退学率 鍼灸学科 9.26% 柔道整復学科 5.14% 歯科衛生学科 7.33% 全体 7.03% 中途退学率は、目標より超過した。休退学者の原因分析により、有効な対策を検討し実施する。 |
| 3 | 就職率 鍼灸学科 100% 柔道整復学科 100% 歯科衛生学科 100% 全体 100% 全体として、目標数値を達成した。キャリアデザイン支援室の就職支援体制の充実を図り就職を支援する。 |

| |
|---|
| <p>4 教員の教育力向上 目標を定め、スキルアップするための自己評価シートを作成した。学生による授業評価を実施し内容の改善を図った。 講師会議を開催し、情報の共有化を図った。</p> <p>5 学生募集の強化 高校訪問・ガイダンスの強化として、広報担当者を中心に選抜された教員が高校訪問・ガイダンスを行った。 学校説明会の参加目標を達成することができなかった。</p> |
| 学校関係者評価 |
| <p>1 鍼灸学科、柔道整復学科は、目標の100%に至らなかったが、今年度の合格率は評価される数値である。</p> <p>2 就職率については、3学科共に目標を達成しており評価される。</p> |

II 各評価項目について

基準1 教育理念・目的・育成人材像

| 自己評価 | 学校関係者評価 | 改善方策 |
|---|--|---|
| <p>教育理念、教育目的及び育成人材像については、学則及び新宿鍼灸柔整歯科衛生専門学校における専門学校教育実現のための方策として定め、教育理念と教育目的を実現するための到達目標を本校全体としての卒業認定・称号授与の方針（ディプロマポリシー）として定め、育成人材像を明確化した。</p> <p>各学科は、各関連業界との交流や教育課程編成委員会からの意見を反映させ、学科に求められている人材要件を、卒業認定・称号授与の方針（ディプロマポリシー）教育課程の編成・実施の方針（カリキュラムポリシー）として明らかにしている。</p> | <p>理念・目的・育成人材像は、学校案内やホームページに適切に表現されている。</p> <p>理念・目的・育成人材像を、卒業認定・称号授与の方針（ディプロマポリシー）、教育課程の編成・実施の方針（カリキュラムポリシー）として、広報媒体等を通して保護者、企業、関連業界等に周知する必要がある。また、役に立つ医療人を育成することが必要である</p> | <p>理念・目的・育成人材像を、卒業認定・称号授与の方針（ディプロマポリシー）、教育課程の編成・実施の方針（カリキュラムポリシー）として、広報媒体等を通して保護者、企業、関連業界等に対して個別に周知を図る。</p> |

基準2 学校運営

| 自己評価 | 学校関係者評価 | 改善方策 |
|---|--|------|
| <p>理事会・評議員会は寄付行為に基づき適切に開催され、審議は、議事録に残されている。寄付行為の改正は、適正な手続きを経て為されている。学校運営に必要な事務及び教学組織は整備されている。</p> | <p>理事会・評議員会は適切に開催されている。学校運営も適切である。</p> | |

| | | |
|--|-----------------------------------|--|
| <p>運営会議は、定期的（月4回）に開かれ、ここで組織図、組織規定を策定し下部会議体へ伝え、各会議体と委員会は各部所の責任を明確にしている。各会議体は議事録を開催ごとに作成し、決定事項を執行している。</p> | <p>会議も定期的に行われており、議事録も作成されている。</p> | |
|--|-----------------------------------|--|

基準3 教育活動

| 自己評価 | 学校関係者評価 | 改善方策 |
|--|--|---------------------------|
| <p>理念等に沿った教育課程の編成・実施方針は明確である。また、学科毎の教育レベルは、免許取得という目標が明確であり、その指導・支援体制は整っている。</p> <p>教育活動の有効性の判断として、授業評価アンケートを実施し、授業の改善に繋げている。</p> | <p>理念等に沿った教育課程の編成・実施方針は明確であり、教育目的・目標に沿った教育課程を編成している。関連業界等との協力体制が必要である。</p> | <p>関連業界等との協力体制の構築を図る。</p> |

基準4 学修成果

| 自己評価 | 学校関係者評価 | 改善方策 |
|---|--|---|
| <p>鍼灸学科、柔整学科、歯科衛生学科ともに全員合格を目標にしている。鍼灸学科及び柔整学科は目標を達成する事が出来なかった。歯科衛生学科は合格率100%である。</p> <p>全員合格のため指導計画、実行、評価及び改善をさらに進める必要がある。</p> <p>各就職先に訪問して現状の活躍を把握、確認をし、積み重ねの資料を作成することが必要である。</p> <p>同窓会と連携を取りながら就職先の開拓が必要である。</p> | <p>鍼灸学科は、はり師92%、きゅう師93%、柔整学科は、88%であったが全国平均を上回っており評価される。歯科衛生学科の100%は、目標を達成しており十分評価される。</p> <p>各学科共に就職率については、目標を達成している。今後各就職先に訪問して現状の活躍を把握、確認し、資料を作成することが必要である。</p> <p>早い時期に内定を取る為に、動機づけや意識づけを行う必要がある。</p> | <p>キャリアデザイン支援室が中心になり同窓会や各学科教員との協力体制を構築し、HPを活用して情報を集める。</p> <p>就職に関しての、動機づけや意識づけを行う。</p> |

基準5 学生支援

| 自己評価 | 学校関係者評価 | 改善方策 |
|---|--|--|
| <p>中途退学の要因・傾向、退学者数及び指導経過については、把握し記録を保存している。</p> <p>中途退学低減に向けた取り組みとして、「学力不</p> | <p>中途退学低減に向けた取り組みとして、学生の学力及び心理面の状況に応じた低学力対策及びメンタル面の指導をさらに進める必要がある。</p> | <p>中途退学低減に向けた取り組みとして、「学力不足」を改善するため、新入生に対する「入学前基礎勉強会」を実施した。</p> |

| | | |
|---|---|-----------------------|
| 足」を改善するため、新入生に対する「導入期の指導経計画」を策定している。またメンタル面の指導や就職に対する意識強化の指導体制も整備している | 平成 30 年 3 月には、歯科衛生学科の卒業生が出る。それまでに同窓会の一本化が必要である。 | 歯科衛生学科を含む同窓会の一本化を図った。 |
|---|---|-----------------------|

基準 6 教育環境

| 自己評価 | 学校関係者評価 | 改善方策 |
|--|--|------|
| <p>施設・設備・教育用具等の整備は十分であり、日常点検等は適切であり、改修等も適切に行っている。</p> <p>平成 29 年は、教職員の避難訓練を実施した。新入生に対しては、毎年新入生オリエンテーションに時、避難経路の確認と非常出口の確認を行っている。</p> | <p>施設・設備、日常点検も適切である。また、防災マニュアルも作成し、周知もされている。</p> <p>建物の耐震化、転倒防止は適切である。</p> | |

基準 7 学生の募集と受入れ

| 自己評価 | 学校関係者評価 | 改善方策 |
|---|--|---|
| <p>高等学校への情報提供は、進学相談会に参加し、高等学校の進路担当へ個別に訪問して積極的に情報提供を行っている。学生募集に関しては、適切に行っており、学校案内やパンフレット・ホームページには特色を分かり易く標記している。また、学校説明会やオープンキャンパスを月 4 回以上行っている。しかし、参加人数が減少している。参加人数増加するための工夫が必要である。</p> | <p>学生募集、入学選考については、適切に行われており、問題は無い。今後さらに取り組みを推進して入学者数を計画数に近づけることが課題である。</p> | <p>体験入学等への企画・内容を検討し応募数値が計画数値になるよう学生募集対策を行う。</p> |

基準 8 財務

| 自己評価 | 学校関係者評価 | 改善方策 |
|--|---|---|
| <p>学校及び法人運営の中長期的な財務基盤は安定している。</p> <p>応募者数等の数字の把握は毎年行っている。法人としての収支バランスはとれており、本校においては入学生確保に係る学生募集行動計画を策定し、コスト管理をしながらも新たな取り組みを実</p> | <p>財務基盤は安定しているが、収支バランスが安定するよう、適切な学校運営を行って欲しい。</p> | <p>人件費比率は年々上昇しており、コスト管理の徹底及び入学生確保に向けた募集計画を策定する。</p> |

| | | |
|----------------------|--|--|
| 施し、前年度以上の入学生確保に注力する。 | | |
|----------------------|--|--|

基準9 法令順守

| 自己評価 | 学校関係者評価 | 改善方策 |
|---|---|-----------------------------------|
| <p>関係法令等を遵守し、適切に学校運営を行っている。また、必要な諸規定を整備しているが、セクシャルハラスメント等ハラスメント防止の対応マニュアルや、コンプライアンスに関する相談窓口を設置した。</p> | <p>学校評価を適切に行っている。今後は、学校改善につながるようにして欲しい。</p> | <p>PDCA サイクルを軌道に乗せ、学校改善へ取り組む。</p> |

基準10 社会貢献・地域貢献

| 自己評価 | 学校関係者評価 | 改善方策 |
|---|----------------------------------|-------------------------------|
| <p>卒業生の卒後研修のため、施術所及び図書室を解放している。 学校の施設を開放して、業界のセミナーや研修会等を行っている。 学生のボランティア活動を積極的に奨励していない。</p> | <p>業界で行っているセミナー・研修等を奨励して欲しい。</p> | <p>業界で行っているセミナー・研修等を奨励する。</p> |